



// 身延高校短信

H28.4.27
第234号

新任のごあいさつ

皆様、こんにちは。

平成22年度まで10年間本校に勤務した後転出し、6年ぶりに再び身延高校で勤務することとなりました。母校でもある本校に校長として勤務できます事を心から喜ぶとともにその職責の重さに身の引き締まる思いであります。

「山笑う」、富士川沿いの山々が柔らかな緑に包まれ、桜が見事に映えるこの時期は、心新たに歩み始めるにふさわしい季節であります。去る4月8日、萩原敬同窓会長様はじめ、多くの来賓の方々をお迎えする中、平成28年度本校入学式を厳粛の内に挙行いたしました。新入生は、定員ちょうどの100名でありました。

式辞の中で、次の事を新入生に呼びかけました。本校の校訓「質実剛健・互助互譲」の精神は、戦前、戦中、戦後と幾多の時代の変遷を経る中でも、色あせる事無く、普遍的な人間の在り方・生き方として、現在まで脈々と在校生に受け継がれてきたこと。「質実剛健」即ち飾らず、たくましく学んでいくこと。「互助互譲」即ち優しく、思いやりをもってお互いを高めていくこと。この校訓を胸に、一日一日を積み重ねて素晴らしい思い出を作り、希望する進路を実現できるよう努めてもらいたい旨話しました。

2, 3年生には始業式において、3つの事を呼びかけました。一つ目は、目標を持ち、その実現に向けて計画的・主体的に日々を過ごすこと。二つ目は、読書を通して感受性を豊かにまた思考力・判断力・表現力を高める事。

三つ目は、自己管理と自助の能力を高めて、安全・安心な高校生活を送る事。これらへの取り組みを通して、今年度が生徒一人一人にとり、実り多き豊かな年となるようにと話しました。

本年度も、教職員は一丸となり授業力向上に取り組み、「分かる授業」を通して、生徒一人一人の進路希望実現に取り組んで参ります。また、家庭や地域、PTAや同窓会、中学校や大学と連携・協力し、特色ある学校づくりを推進して参ります。

創立94年目を迎えた本校の発展のため、今年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年4月吉日 県立身延高等学校長 若林 毅文